

十九の春（ワルツ2）

本調子

中	合	中	上、中	工	中	工	上	合	四	合	四
---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---	---

四	合	四	合	四	合	四	上、中	合	上	四、中	五	合	七	の				
													わた	し	が	あなた	に	ほれた

工	合	工	中	合	中	上、中	工	合	工	中	工	上	合									
													は	ちよう	ど	じゅう	く	の	は	る	で	し

四	合	上	中	工	五	合	五	七	五	工	中	上	四	合	五	ら										
																た	いま	さ	ら	り	え	ん	と	い	う	な

工	合	工	中	合	中	上、中	工	合	工	中	工	上	合										
													ば	も	と	の	じゅう	く	に	し	て	お	く

四	合	四	四	合	四	
						れ

一、私があなたに ほれたのは ちよう
 ど 十九の春でした
 今さら離縁と 言うならば もとの
 十九に しておくれ

二、もとの十九にするならば 流れる水
 に字を書くよ 明けて8月雪も降る
 焼いた魚も泳ぎだす

三、見捨て心があるならば 早くお知ら
 せくださいね 恋に焦がれるセミよ
 りも鳴かぬ蛩が身を焦がす

四、あなたあなたと呼んだとて あなた
 は何処の空の下 同じうるまに住み
 ながら 会えぬ我が身の切なさよ

五、奥山住まいの鶯は 庭の枯れ木で寝
 んねして 春が来るような夢を見て
 ホーケーキヨホケキヨと泣いてい
 る 花も咲くよな夢を見てホーケー
 キヨホケキヨと泣いてます